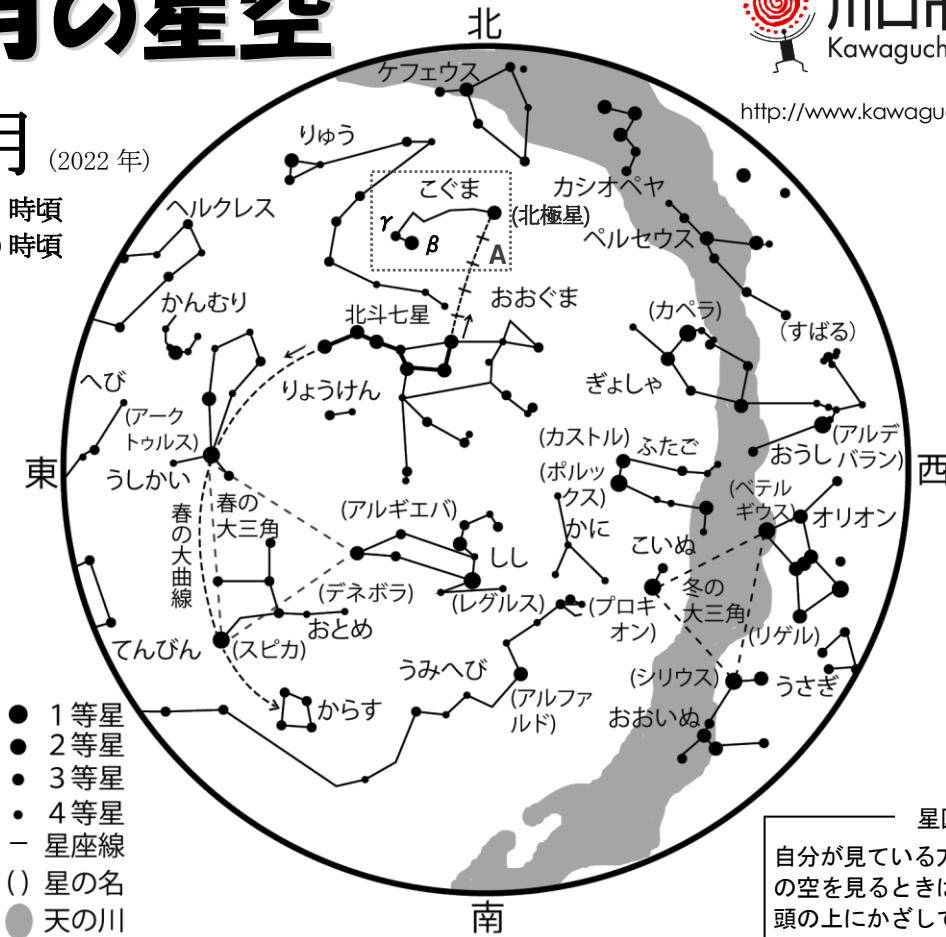


# 今月の星空

4月 (2022年)

上旬 21 時頃  
下旬 20 時頃



月 齢 ● 新月 1 日、● 上弦 9 日、○ 満月 17 日、● 下弦 23 日

惑星情報 水星 日の入り後 南西(おひつじ→おうし座 -1→0 等)※下旬

金星 日の出前 東(やぎ→みずがめ→うお座 -4 等)

火星 日の出前 南東(やぎ→みずがめ座 1 等)

木星 日の出前 東(みずがめ→うお座 -2 等)※下旬以降

土星 日の出前 南東(やぎ座 1 等)

## ☆大きなひしゃくと小さなひしゃく

北の空高いところに、ひしゃくの形に星が並ぶ北斗七星が昇ってきました。おおぐま座の一部ですが、明るい星が多いので、特に市街地では際立ちます。この北斗七星は、春の星空めぐりの目当てとなっていて、「春の大曲線」の起点であり、また、北極星を見つける目印です(星図参照)。そして、北極星付近には、星図(Aの四角)のとおり、小さなひしゃくの形のこぐま座があります。北斗七星と対になるような形や配置が特徴であり、おおぐま座とこぐま座もペアの星座です。ギリシャ神話では、妖精カリストが大熊に、その息子アルカスが小熊に変えられた姿とされています。暗い星の多いこぐま座ですが、2等の北極星とβ星コカブ、3等のγ星フェルカドを見つけてみましょう。

## ☆夜明け前の空で惑星の集合・整列を見よう

この時期、夜明け前の東の空には、惑星が次々と昇りにぎやかな光景となります。例えば、4月下旬の惑星が昇る時刻は、土星…2時頃、火星…2時半過ぎ、金星…3時過ぎ、木星…3時半頃です。惑星の位置関係は日々変わります。以下を参考に、惑星同士の接近などを観察してみましょう。

### <注目の惑星の集合や月との接近>

- ① 4月5日…火星と土星が大接近(約20分角※1)
- ② 4月下旬…木星、金星、火星、土星が直線上に並ぶ
- ③ 4月25日~28日…月が惑星に近づく(右図参照)
- ④ 5月1日…金星と木星が大接近(約15分角)

### <今後、宵(または日没後)の空で見られる時期>

土星…8月頃(8/15 衝※2) 木星…9月頃(9/27 衝)  
火星…11月頃(12/8 衝) 金星…12月下旬

※1 角度で表した天体間の距離。月の視直径は約30分角。  
※2 衝(しょう)…地球から見て天体が太陽の反対側に位置するとき。天体が一晩中見える観望好機の目安。

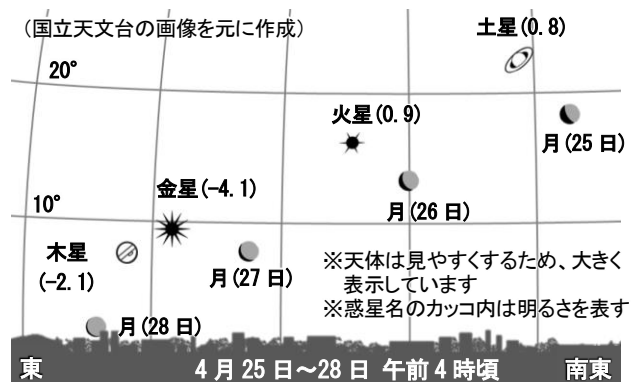


図 4月下旬(25日~28日)午前4時頃の惑星と月の接近